



協力：FM 島田 〇〇広報課シティプロモーション室 ☎ 36-7355

今年、創業190年を迎える島田市唯一の酒蔵「大村屋酒造場」。7月に東京駅で開催した「島田の緑茶縁日」の出店を担当した、営業課長の佐藤さんにお話を聞きました。

緑茶縁日では、東京にいても島田の雰囲気味わえるように「島田の逸品」にも登録されている「若竹^{おにょとめ} 鬼乙女」をはじめ、当社自慢の商品を販売しました。イベントスタッフは皆、どれだけ忙しくてもお客さまを笑顔で丁寧におもてなししていました。私は、東京から10年前に島田市に来ましたが、住めば住むほど、その魅力に気付かされます。今後も、ご愛飲いただいている皆さまと共に、島田市の魅力をPRしていきたいですね。



佐藤晃さん



(株)大村屋酒造場

島田市唯一の酒蔵。「若竹」「鬼ころし」という伝統銘柄や、全国で名の知られる純米大吟醸「おんな泣かせ」などを製造しています。

高校生、島田の仕事を探る!

FM 島田で放送! 第4木曜日 ①午前9時から ②午後1時30分から ③午後7時5分から ④第4日曜日 午前10時から。音声データ➡



第2回は、木材を加工して、主にかまぼこ板を製造している(株)森田木工所を訪問。同社では、他にもスモークウッドや実験用マウスの床敷き(かまぼこ板の加工時に出る削りくずを活用)などを製造しています。高校生は、島田市の木材産業の歴史や市内のかまぼこ板の製造会社が、全国で6割のシェアを占めていることなどを取材。また、板にはかまぼこの水分を調節し、日持ちを良くする役割があることなどを探りました。過去の放送内容は、市のホームページから聴くことができます。ぜひ、お聞きください。



かまぼこ板の加工を見学する高校生

みんなの広場

Minna no hiroba / Civic news, event, voice

皆さんから寄せられた、地域のニュース・イベント・声などをご紹介します。写真付きの投稿を、お待ちしております。 アドレス➡



島田市の魅力は、どんなところでしょうか? 私たちが住むまちは、いろいろな魅力で溢れる地域ではないでしょうか。NPO 法人ららの家では昨年度、市内のハイキングやマラソンを実施しました。それらの活動を通して、まだまだ私たちが知らないすてきなところが、市内には多そうだと感じました。そこで今年度は、地域の児童と一緒に、市内の魅力を再発見する探検を計画。7月末に第2回目を終わりました。今回は、普門院を訪れ、お寺の歴史や、住職さんが使用する道具について教えていただきました。(NPO 法人ららの家 曇科真莉)



住職から説明を受ける児童たち